

星屑

1997 December
No.273



熊本県民天文台

城南町立歴史民俗資料館特別展

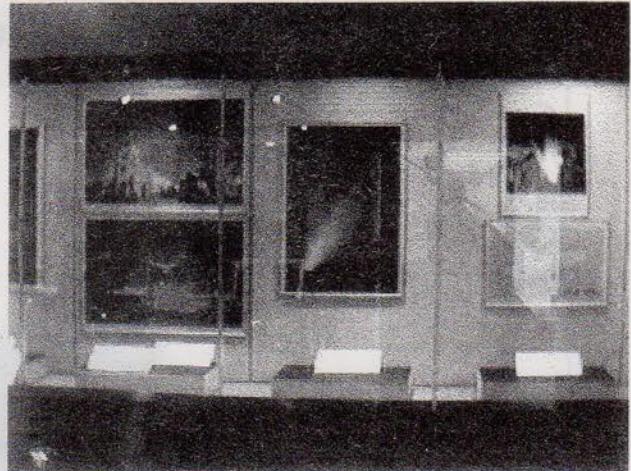
「熊本の星空 巨大彗星を追う」開催中

天文台に行く途中、高速道路の下に右のような看板が掛かっています。始めてみたときはびっくりしますが、これが私たち、熊本県民天文台の協力で開催されたものです。毎年、一つのテーマで特別展を開いている歴史民俗資料館ですが、今年は同じ塚原古墳公園の中にある県民天文台の活動紹介を兼ねながら、熊本で撮影されたり観測された星の写真を展示することになりました。夏のTalk About の時に提案されましたが、実質的には艶島さんが一人で準備をしたようなものでした。

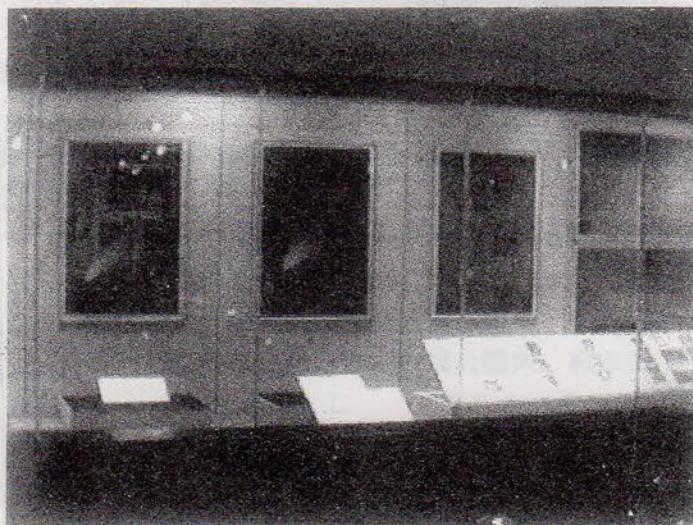
さて、内容の紹介です。メインは今年のホール・ポップ彗星の写真でした。



有馬さん撮影のみごとな作品
などなど



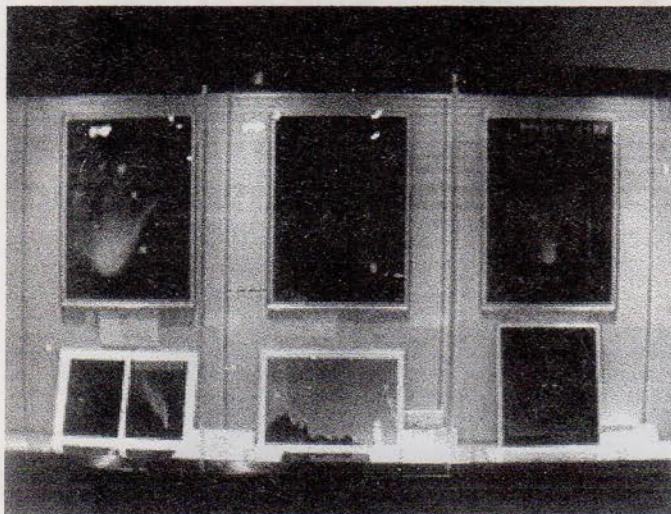
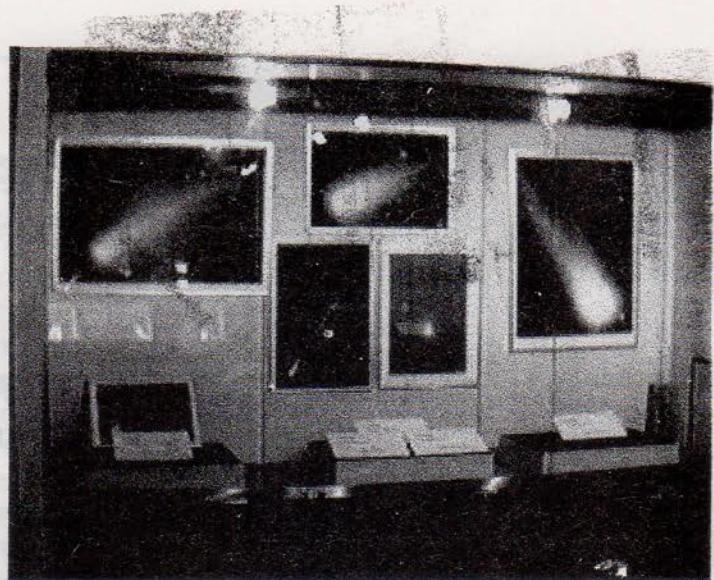
花草さん撮影の3月のホール
ポップ彗星



小林Jさん作のホール・ポップ
彗星の解説書もあります

アーチー（アーチー）の展示
遊び施設（元祖アーチー）

そして、昨年の「百武彗星」！！



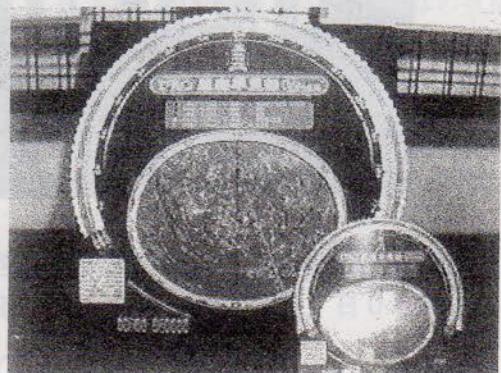
ハレー彗星の展示もあります

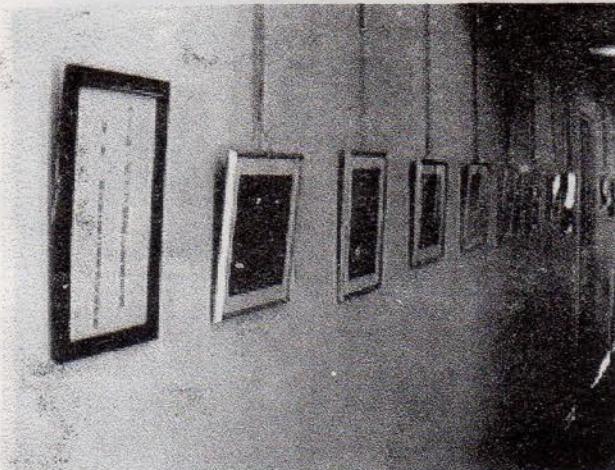
下の方には、懐かしいウェスト
彗星やベネット彗星なども並んでいます



こんなコーナーもあります

特大の手作り星座早見板





第二高校の写真も展示してあります

ヘルポップ彗星と9月の皆既月食の作品ですが、活発な活動を感じられます

今回の特別展を記念して、図録を作成しました。今回展示されている写真のほとんどが収録されています。城南町で作成されたものなので、非常に安く購入できました。そこで、今回は天文台創立15周年ということもあり、この図録をすべての会員に送ることにしました。どうぞお楽しみ下さい。



城南町歴史民俗資料館特別展「熊本の星空 巨大彗星を追う」は

11月30日（日）まで開催

毎週土曜日は午後9時まで特別開館中

入場料 210円

COMET PAGE**Oct. 1997**

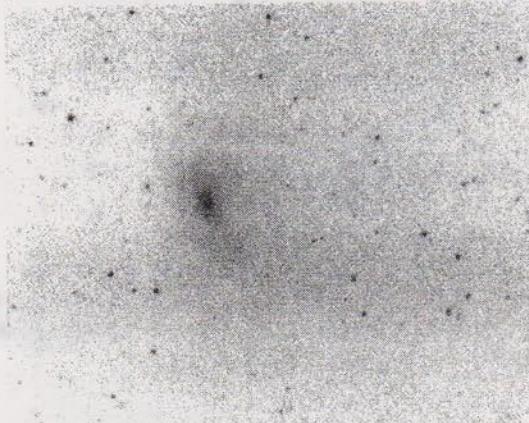
by Porco Nisse (KCAO)

このページは、1997年10月に観測した彗星の紹介です。

熊本の今年の10月は、雨が降らない10月だった。
天気が良かったといつても透明度は春先のように悪く、暗い彗星を狙える夜は少なかった。

でもこの地、熊本で新しい星が見つかった！三度目の正直、宇都宮彗星の誕生だ。熊本で発見され、熊本で確認できたことはやはり嬉しいニュースだ。

☆ C/1995 O1 (Hale-Bopp)



C/1995 O1
Oct. 6, 1997 41cm F/6L

5月末に夕空に見送った星が南東の空低く見えるようになりました。ただ地平高度は10度を超えることなくそのまま南下してしまうのですが、計算上は11月頃まで観測可能のはずです。さて最終観測はいつに？

☆ C/1997 T1 (Utsunomiya)

C/1995 T1 (Utsunomiya) Oct. 10, 1997

C/1997 T1 (Utsunomiya)
Oct. 5, 1997 24h40m38s JST
41cm F/6L BT-20 exp. 20 sec.

▲ 新彗星 北天にウツノミヤ彗星

C/1995 O1 (HALE-BOPP) Oct. 31, 1997



5日の深夜、観測に出かける準備をしているところに、阿蘇の宇都宮氏から新天体の発見を伝えられた。早速その夜確認観測を行って、IAU中央局からC/1995 T1として新彗星の仮符号が与えられた。その後、この星は単独発見が確認され、ウツノミヤ彗星と登録された。

右上の画像は最初に写したもので、報告を受けた位置を中

央にした。彗星は南西に早い動きを示していた。そのため軌道が素早く計算され、12月10日に近日点を通過することがわかった。この後彗星は急速に南下を続けるが、地球との位置関係はあまり良くなくて、10等級より明るくならないと思われる。

久々の快挙、宇都宮氏に拍手！ですね。

C/1997 T1 (UTSUNOMIYA) Oct. 17, 1997 41cm F/6L 1'

C/1997 T1 (Utsunomiya) Oct. 31, 1997

1'

43P/Wolf-Harrington Oct. 31, 1997.

1'

☆43P/Wolf-Harrington

この星は、1924年にM.ウォルフによって発見されました。その後しばらく見失われた経歴を持ちますが、そんなことは嘘のように今回帰は立派なほうき星の姿を見せてています。その姿は上の画像をごらんになるとおわかりでしよう。長い露出をかけた画像では、尾は18'の視野をはみだしています。今が見頃、旬の星です。

78P/Gehrels 2 Oct. 31, 1997

65P/Gunn Oct. 10, 1997

104P/Hartley 2 Oct. 31, 1997

128P/Shoemaker-Holt 1
Oct. 31, 1997

10月は観測日が多く、画像もたくさんありますが、スペースの都合でその一部の紹介です。

☆ 65P/Gunn

軌道の全周で観測可能な星です。ごらんのように、毎回CCDではあまり変化のない姿を見せます。

☆ 78P/Gehrels 2

この星は10月が光度のピークんはずでしたが、少し上げ止まりのようでした。

☆ 104P/Hartley 2

なかなか明るくならず心配しましたが、やっと増光のピッチがあがってきました。

☆ 128P/Shoemaker-Holt 1

小さいですが、ちゃんと尾のあるほうき星です。

☆ C/1997d1(Mueller)

尾orコマ? よくかわからない光に包まれています。

G/1997 D1 Oct. 31, 1997

新婚旅行トラブル記

松野 真二

9月29日、無事に結婚式を挙げ10月1日からハワイに向けて出発し、マウイ・オワフ島を観光し10月6日に福岡に帰る旅でした。



...ここで原稿を終わると怒られますので詳しく書きます。

出発まで！（トラブルはここから始まる）

旅行先が奥さんの希望によりハワイに決まり、新聞・雑誌・パンフレットをあさり、某ツーリストに1ヶ月以上前に申し込み状況を聞きました。当初10月3日から出発したいと予定を述べると、出発日の変更は出来ないので、確実になってから申し込んでください、資料をお送りします、と返答があり、数日後資料到着、2-3日考え行く島及び日程を決めて、会社に休暇日程の要望提出それから数日後なんとか、休暇が了承されツーリストに旅行を申し込むと.... 10月1日からのツアーは出発日1ヶ月前にすでに締め切ったと言うのです、電話では聞いていなかったのですが、資料よく読むと小さく記入1ヶ月前に締め切る事があると書いてある私は、ぼうぜんとしてしまいました。休暇は取ったが旅行に行けない、思わず奥さんの顔が浮かぶ.. 再度交渉し数時間後ツーリストから電話があり、なんとか行けることになりました。これで問題は終わりません、それから数日間は結婚式の準備があり、13日に天文台に当番に行ったとき、せっかくハワイに行くのだからハワイの天文台に行きたいと艶島さんへ言うと前にEメールでハワイから公開天文台がにあったから問い合わせてみるとラッキーな返事また、数日後連絡があり10月4日なら開いていると言うこと、予定表を見るとサンセットディナークルーズ、これでは諦めないといけない、5日はだめなのか問い合わせてみると艶島さんから出発数日前に5日でもよいと連絡がありやっと出発することになりました。

出発！（10月1日）（着くまでもあるゾートラブル）

といつても福空港それも19時過ぎの出発で昼過ぎまで最後準備で、うろうろしていると近所からまだ行かないのと心配の声、それでも16時には福岡空港に着き時間があるので空港内見学17時半過ぎツーリストの方が来られ搭乗手続き、手荷物のバックに問題があると言われ、日本航空カウンターへ行くことになりました。もちろん機内サイズのバックです。理由は現在日本航空ではそのタイプは持ち込み出来ないと言われた、納得の行かない説明だったのでしつこく交渉、なんとか持ち込み可となる、後で同じタイプのバックを機内で数個見たときに、私だけ言われる意味が分からなかった。その後無事搭乗外は真っ暗になり、福岡の夜景を見ながら離陸、ハワイまでは福岡から7時間ほど掛かる。4時間ほどしたころ問題が、奥さんにしては、彼女も数回近郊の外国には旅行したが、3時間以上飛行機に乗ったことがないと言うのだ、問題は足がむくれて靴に入らないと言うもの、機内には幸運にも機内サービス期間中でビーチサンダルがもらえ、それを履いて彼女はそれ以降マウイ島観光をする事になる。

参考 日本とハワイは時差が-19時間ありサマータイムは適用されない例 19時出発するとハワイでは0時なる、約7時間掛かるから、7時過ぎに到着する。

10月1日午前 ハワイ到着！（トラブルからトラブルになるのはいつ？）

日付変更線を越えましたので再び1日の朝が始まる、オワフ島に到着しかし何かたらないそう花のレイが頂けなかった、オワフ島で乗り換えマウイにここでももらえず、結局少し残念だった（後で手違いと判明したがやはりもらえなかった）。このあたりで出発当時から気になっていた事が原因だと解ってくる、実は福岡からツアー受付に来た人は数人でオアフ島では違う人とマウイ島に案内されたのでした。つまりパンフレット道理のツアーは私たち夫婦だけなのです。

半日観光では、また違う大阪からの家族1組と合流しました。トラブルは続くマウイ観光のアイオア渓谷を見学し、目玉の1つサトウキビ列車が動かないと連絡が入る、代わりにマウイ・トロピカル・プランテーション（農園）の観光に変更とそこで昼食とり、明日のハード（現地の人に止められた）なオプショナルツアーや2つ申し込み。疑惑を持ちながらラハイナ（飯島直子さんが式を挙げたとこ）町に行く途中、本当に電柱が5本ほど線路に倒れ工事のため渋滞していた。ラハイナは19世紀ごろ捕鯨港で栄え建物の雰囲気は古き良き港町風しかし、店内は免税店など観光用のお店がなり、気の荒い船乗りさんは見かけない、ウインドショッピングだけしていました。カアナパリは、ラハイナの隣にありショッピングがメインの人向けでホテルも多く、近くにはカアナパリビーチがありどちらかと言うとこちらに宿泊した方が便利のいいとこです。

島の反対の側のマウイプリンスで、到着した頃は周りは真っ暗だった。少し遅い夕食をとり、午後九時には就寝。明日のハレヤカラサンライズツアーAM3:00出発で明日は2時半起きだー.. なにか？期待しているのでは？...

10月2日（トラブルの休息）

2日目なんとか起き、奥さんも足が戻り靴が履けるようになり、迎えの車で行くことに。しかし日の出は気象に左右される、ガイドの人は今年の正月は曇って見られなかったと言っていました。途中コンビニでホットドックで軽い朝食（自腹）コーヒーはおごってもらつた。晴れやから.. オット間違ったハレヤカラについて、名前の意味は太陽の家でハワイでも高い方の火山で標高3055mと高い、つまりハワイでも雪が降ることがある場所で、午後からは雲が出る確率が高いそうです。登る途中で2カ所ほど休憩されたときに夜景を見ながら、ドライバーの人が言わわれたのは、観光でレンタカーで行かれる人は一気に登られ高山病になる人もいる、2000m地点の最後のトイレで休憩する人も確かに少ない、その横をどんどん車が登っていく。もし登られる人は山ができるだけ汚さないようにお願いしたい。山頂まで車で行けます、要防寒。5時頃にプウ・ウラウラ展望台に着き既に車が20台ほどありもう少し遅いと駐車できなくなるとこでした。

上を見ると今までに見たことがない星空、オリオン星雲のぼーとしているのが解ります。日の出のつもりでオートのみカメラしか持って行かなかつたのを後悔しました。空気の揺れはあまりなく近くにアメリカ政府の天文台がある理由がわかります。やがて東の方が明るくなり始め西の星が消え始め、日が水平線から登ったとき私は、はじめてあんな日の出は見ました、太陽が点で出始め縦に一瞬光がのび普通の日の出に変わっていきました、何年もガイド人興奮していました。長くやっているが水平線から登るのは初めて見たそうです、大抵は水平線上に雲がありその後登るそうです。こうしてトラブル続きもここへきて幸運に恵まれました。帰りは山の風景・珍しい高山植物をホテルへ朝9時帰り遅い朝食を取りました。おっと今月約束に2ページになりました。このつづきはあるのかな？

今年もあとわずか。忙しい?年末の到来です。今年こそは年賀状を早めに書くぞ!!と思っている今日このごろです。でもズルズルとのびて、結局31日に書く事になりそうな気がします。はあー。最近雨が降りませんね。バイク通勤の私としては、晴れにこしたことはないのですが、やっぱり雨も降ってもらわないと運営が。。。ま、まあ、何はともあれ、今年1年すごい現象の数々、HB彗星や日本では部分日食。宇都宮氏による新彗星の発見と慌ただしかった1年でした。さて、来年はどんな年になるのでしょうか。今年1年有り難う御座いました。来年も、どうぞよろしくお願ひします。

★ 12月の天文現象&行事★

- 7日(日) 上弦(15:09) 大雪
- 12日(金) 金星が最大光度(-4.7等 08:21)
- 13日(土) トーグアバウト(20:00~)
- 14日(日) 双子座α流星群が極大 満月(23:12)
- 15日(月) 月が最北(赤緯+18° 39'.8 本年最北)
- 22日(月) 冬至 下弦(06:43)
こぐま座β流星群が極大
- 29日(月) 月が最南(赤緯-18° 40'.2 本年最南)
- 30日(火) 新月(01:57)
- 31日(水) 夕方の空で、月・金星・火星・木星が並んで見えます。

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1997年12月号 通巻273号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-42

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML